

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月22日

団体名 NPO 法人 岡崎がくどうの会

代表者 長坂 尚希

構成員 321人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

この法人は、子どもたちが安心・安全に放課後を過ごすことにより、保護者が安心して働くことができ、子どもたちの生きる力を育むことを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
年3回	郵送	市民(これから学童保育を利用する子どもと保護者)	約500人	当会が発行する広報紙の発送 (別紙参照)
6月、9月、1月	岡崎市役所	市民(これから学童保育を利用する子どもと保護者)	市民	当会の市に対する要望書の提出 (別紙参照)

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

広報紙の発送は、学童保育の質と量の向上を図るための啓発・参考資料としての効果が期待され、要望書の提出は、学童保育の質と量の向上を図るための行政と民間の連携が期待される。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

共働きやひとり親の家庭が増加するなかで学童保育のニーズは少子化と反比例するように増加している。それらの問題を解決するため、当会が中心となり、各クラブの保護者の協力も得ながら次世代の学童保育のニーズに応えられるように努力している。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。